

解禁日

ラジオ・テレビ・インターネット 令和4年5月20日(金) 17時
新聞 令和4年5月21日(土) 朝刊

Press Release

鳥羽志摩記者クラブ 各位

令和4年5月16日(月曜日)

【照会先】

鳥羽市教育委員会 生涯学習課

担当：豊田

TEL 059925-1268

「菅島灯台」の国重要文化財への指定について

～菅島灯台が重要文化財（建造物）に指定されます～

- 概要：文化庁の文化審議会は令和4年5月20日(金)に開催された同審議会文化財分科会の審議・議決を経て、鳥羽市菅島町に所在する菅島灯台を重要文化財に指定することを文部科学大臣に答申しました。

重要文化財（建造物）の新指定の答申が行われるもの（詳細は別紙参照）

- 菅島灯台 一基

この結果、鳥羽市内の国指定の重要文化財は9件目となる予定です。

また、この文化財指定答申について市長のコメントを発表します。

- 特記事項
 - ・ この件の資料提供については、文化庁と三重県が令和4年5月12日(木)14時に行っています。発表は、国・県と同一日時にする必要がありますので、標記のとおり解禁日を設定します。なお、解禁日時は、5月20日(金)の17時です。

中村鳥羽市長コメント

平素は、当市の行政運営に多大なるご理解と協力を賜りありがとうございます。本日、国の文化審議会から文部科学大臣に対し、「菅島灯台」を国の重要文化財に指定するよう答申がなされました。長きにわたり海上の安全を見守ってきた灯台の歴史的な価値が認められ、大変嬉しく思っています。これまでご尽力いただいた菅島町のみなさん、関係機関の皆さま、おめでとうございます。

灯台は地元のシンボルとして菅島のゆるキャラ“すがちゃん”のモチーフに使われるなど住民に愛されており、住民が周辺の植栽や草刈などを行っているほか、菅島小学校では観光客を案内する「しまっこガイド」も活躍しており、子ども達は灯台も案内しています。

今回の国指定を契機に、所有者である鳥羽海上保安部様と地元の菅島のみなさん、関係機関にもご協力をいただきながら、この貴重な灯台を後世に保存・継承されるように努めるとともに、より一層、対外的に情報発信に努め、鳥羽市の活性化にむけて取り組んで参ります。



令和4年5月20日

鳥羽市長

中村 欣一郎

重要文化財新指定答申文化財概要（三重県）

【名称】菅島灯台（すがしまとうだい） 一基

【所在地】鳥羽市菅島町

【所有者】国（海上保安庁）

【年代】明治6年（1873年）

【構造】煉瓦造（灯籠は金属製）、建築面積21.02㎡

【指定基準】歴史的価値の高いもの

【概要】

菅島灯台は、志摩半島北東端の鳥羽港沖に浮かぶ菅島に設置されている灯台です。鳥羽は近世以来、海路の要所かつ難所として知られ、江戸時代には幕府が篝火堂（かがりびどう）を設けていました。菅島灯台は、篝火堂に代わって明治政府が明治6年に建設した洋式灯台です。設計は明治初期の洋式灯台を多く手がけた明治政府のお雇い外国人技師である、英国人のリチャード・ヘンリー・ブラントンが行っています。

菅島灯台の敷地は、菅島の東端に位置し、南東が崖地で海に面しています。灯台の建築面積は21.02㎡、総高は11.0mで、煉瓦造灯塔の上に金属製の灯籠（とうろう）を乗せ、灯籠の周囲を踊り場とする構成で、全体を白色に塗装しています。海面から灯火までの高さは55.1m、光達距離は7.5海里（約14km）です。

菅島灯台は、江戸幕府が設置した篝火堂の代わりに明治政府が建設した洋式灯台の一つであり、近代海上交通史上価値が高いものです。現存する最古の煉瓦造灯台であるとともに、現存する煉瓦造建造物としても最古級のものであり、貴重な文化財です。

菅島灯台写真



全景



点灯風景

鳥羽市内の国指定重要文化財

No.	名 称	種別	所在地	所有者	指定年月日
1	庫蔵寺本堂 附厨子一基棟札六枚	建造物	河内町	庫蔵寺	T 9. 4. 15
2	庫蔵寺鎮守堂 附棟札五枚	建造物	河内町	庫蔵寺	S31. 6. 28
3	鉄獅噛文金銅象嵌鍬形	工芸品	神島町	八代神社	S38. 7. 1
4	伊勢神島祭祀遺物	考古資料	神島町	八代神社	S58. 6. 6
5	伊勢湾・志摩半島・熊野灘の漁撈用具	有形民俗	浦村町大吉	鳥羽市	S60. 4. 19
6	志摩加茂五郷の盆祭行事	無形民俗	松尾町・河内町	松尾地下・河内地下	S62. 12. 28
7	庫蔵寺のコツブガヤ	天然記念物	河内町	庫蔵寺	H 5. 6. 8
8	鳥羽・志摩の海女漁の技術	無形民俗	鳥羽市・志摩市	鳥羽海女保存会・志摩海女保存会	H29. 3. 3